



【飯豊山(いいでさん)】

(山形県、福島県、新潟県の県境)

「飯豊山＝飯が豊かな山」と読めるのは、「飯＝米」作りに欠かせない「水」が豊富な山であるからこそ



そして飯豊山頂は他の山々に囲まれ、どの角度から見ても、麓からは見えないとされる、深い深い山で
ありました… ✨

というわけで、行ってきました飯豊山 🌄

今回は本当にいろいろな人からの助けがあり、そして、多くの発見がありました!! またまた書き留めてお
きたいことだらけなので、事細かに山行記録～📖

【準備段階】

★三太さんに御礼!! 🙏

ー昨年、昨年の10月に飯豊を訪れていた三太さん。(→三太さん、あなたのブログで、10月の飯豊に洗
脳されましたよ～👉)

入山前から様々なアドバイスをもらい、その上、今回の山行のキーマンを紹介してもらおう。今年、三太さ
んは山活動休業中のため、その分楽しんでくるよ～👉(⇒羨ましがられたというか、恨まれたかな!?)🤔)

★なべちゃん&金子さん

三太さんから、飯豊山のガイドを務める、なべちゃん&金子さんを紹介してもらった。彼らはちょうど同じ日に、本山小屋の管理人代行として入山する予定だったので、そこまで同行させてもらうことに😊

⇒これが、飯豊のツウな楽しみ方を教えてもらうだけでなく、山のあれこれについて、いろいろと語り合えた山行になったのでした💡👉

★会津バス『夢街道会津号』🚌

「新宿・王子 ⇒ 会津若松・喜多方 ¥2,500～」

激安～👛 早速予約し、日程決定💡

★台風一過!!

ということは、晴れるはず!! と期待👉

【移動日】

★喜多方

とくれば、喜多方ラーメン🍜

大正時代からの老舗「源来軒」に入り、食したのがネギら一めん(=写真 1)。

スープが、濃い…。

醤油味だけど、甘さも辛さも出てきて、あとを引くスープでした👉

さらに食後は、「蔵のまち喜多方」をブラブラ散策。郵便局まで蔵の外観だったし、本当に蔵の多い街でした。(=写真 2 は、江戸時代から醤油&味噌作り営む『若喜商店』。レンガ造りの蔵として有名。)

★民宿『高見台』🏠

喜多方から JR で一駅乗り、山都駅に到着。ここから路線バスで終点「いいでの湯」に着くと、出迎えてくれたのが、民宿のご主人小椋さん。(→ちなみにこの集落のほとんどの姓は小椋さん、とのこと。) 小椋さんの🚗で民宿へ。

この民宿も、三太さんの紹介で予約したのだが、聞いていたとおり、アットホームな民宿。夕食は、山菜料理 & 川魚のオンパレード。どれもこれも体に優しい味で、うまいっ🤤

さらに嬉しいのは、ここに宿泊すると、翌日は集落関係者しか車で入れないという「小白布沢登山口」まで連れて行ってってくれること👏👏 これでは標高は 200m 以上稼げるのだ～😊👧

★熊

他に 6 人パーティーの宿泊客もいたので、おれは離れを 1 人で使わせてもらう。その部屋の壁には、小椋さんが以前撃ち取った熊の皮が…🐻 (=写真 3)

よくよく聞くと、この地方には、古くから「マタギ」と呼ばれる狩猟民族がいる。また、山形県側の小国町では今でも熊狩りの祭が行われ、1 年に 28 頭までは熊を殺してよい、とされているのだ。こうして熊も管理されているんだね💡

★今回、最大の忘れもの

地図…。(これを忘れちゃダメでしょう…📍📍📍)

喜多方駅付近の本屋でも探すが、飯豊山の地図は売ってがなく、観光案内所でアバウトな概念図をもらう。

この最大の汚点、誰にも言えない…、と思いつつ、旅の恥はかき捨てで、小椋さんに打ち明けると、なんと筆筒の引き出しから「2001 年版 飯豊山」の地図を出してくれたのだ👏👏 わお!! 即お買い上げ～👛

★気象予測

東京で見てきた週間予報は晴れだったのに…。民宿で見た天気予報:

「台風は過ぎ去りましたが、この台風が大陸から寒気を連れてきました。よって、気圧は冬型の西高東

低となり、日本海側では不安定な天気となるでしょう🌨️」

ただただ、台風一過を喜んだおれが、浅はかでした…。

(10月の東北…、これくらい想定しないといけなかった…😓)

しかも、小椋さんには、「昨日は飯豊山で初雪が降り(積雪 3cm)、紅葉はすでに終わったよ」、ととどめを刺される…😓 例年、飯豊の紅葉🍁の見ごろは9月末だけど、今年は特に異常気象だとも話していた。地球に何かが起こってるんだらうな…。そんなことも、小椋さんとストーブを囲んで語り合った。

※2009.10.9(移動日)

9:45 王子駅 (→高速バス)

14:15-17:00 喜多方駅 (→駅周辺観光後、JRで移動)

17:15 山都駅 (→すぐに路線バスに乗り込む)

17:40 いいでの湯 (→民宿「高見台」の送迎車に乗り込む)

18:00 高見台到着

でも、翌朝 4:15 に起きると、外は月夜 & 星空🌌

何だか、嬉しい予感がする…!! ✨

こうして、大冒険の飯豊山行、はじまり、はじまり～👉

(つづく)

なべちゃんは、ゆっくりゆっくり、でも休まずに歩く。横峰まで約 1 時間半とは聞いていたが、ほぼ 1 時間半で到着。歩くペースもコントロールできる、さすがなべちゃん 🍷🍷 小休憩も 1 度だけで無理なく歩けた 😊

なべちゃんいわく、「これがあと 10 分早いペースでも、あと 10 分遅いペースでも、疲れてしまうのだ」とのこと。わかる気がする 😊

★7:40 横峰～、稜線スタート

ここからはゆるやかな登りが続く。

楽しみにしていた紅葉は、あるにはあるけれど、どことなくすんでいる。



見ごろは 9 月末とのこと。次回はその時期を狙うぞ!!

★8:30 剣ヶ峰のロマン!?

古くから信仰の山として崇められていた飯豊山を、これまで多くの人が歩いてきたわけだが、道中の危険箇所では、危険から身を守ってもらえるようにと、小銭を道に投げている習慣があった。

となれば!! 💡

古人が投げた小銭(古銭)が、今でも残っているかもしれない!! ✨

なべちゃんいわく、古銭は雨の降った翌日は見つかることが多いそうで、こうなると、血まなこになって地面ばかり見つめる。すでに目的は、登山から宝探しに変更…!? 🤖 (というより、おれよりもなべちゃんや金子さんが必死に探していたはず 🤖)

そして戦績。おれは全然見つけれなかったのだが、なべちゃんは1枚 🤖、金子さんは2枚 🤖 🤖も発見～ 🗨️ これをいただいてしまった m(_ _)m

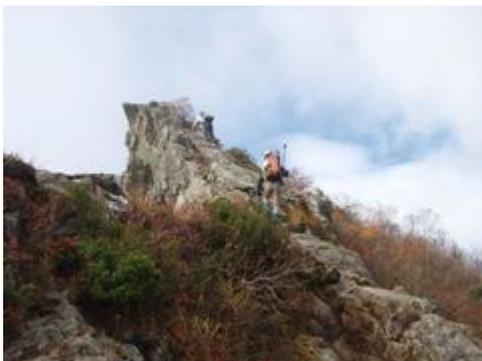


なべちゃんより、「見つけた古銭は、お守りとして後生大事にすることにして、その代わり今度は自分の小銭を山に置いていきなさい。」と言われる。

結局、もらったときにすぐに小銭が出せなかったので…。今度また飯豊山に行った時は、このルートのどこかに5円玉でも隠してこようかな。数百年後の登山客のために ✨

(⇒5円玉ではなく、10000円札にしろ、という声もありましたが…。却下させていただきます 🤖)

さらに、剣ヶ峰を登り切ったところが、弘法大師が修行したといわれる「護摩壇」。(通常、この岩場は巻き道を通りますが、なべちゃん達は岩稜を登って登頂) 護摩壇の先は、絶壁…





★9:30 三国小屋にて休憩

なべちゃんの地図を見せてもらおうと、たしかに、地図だ… 🗺️



本物は 7m あるそうで、それをなべちゃんが駆使して写したとのこと。いいでの湯の集落から飯豊本山まで、なかなか見応えのある地図でした 🗺️

★10:00 ひたすら稜線歩き

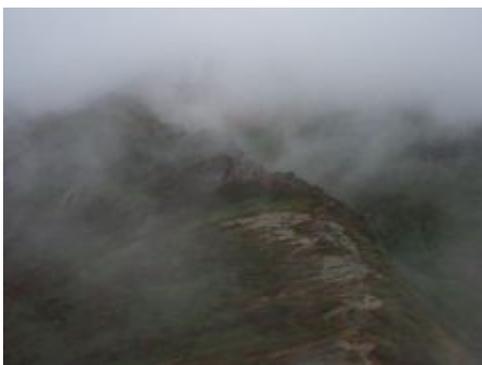
この後はしばらく、晩秋の緩やかな稜線や岩稜帯を登り続けるが…。



雲行きが怪しくなり…。

★12:20 草履塚

飯豊本山を眺めるには、ここがナイススポットだと言われるが…。



ほんと!? 🤔

結局、何も見えないまま、通過…。😞

★12:40 浦島太郎な気分!?

草履塚を過ぎてからは、岩場が続いたが、突然なべちゃんが「いいからこの岩に跨ってみろ」と言われ、その姿を下からカメラで写された📷 それを見ると…



そう、カメの上に乗っているようでした。この「カメ岩」、本当にカメそっくりだけど、言われなければ素通りしていたはず!? こういうのも、ガイドさんと同行してこそ気づけることだね!🤔

そのまま、最後の御前坂を登りきると…、

★13:40 本山小屋到着～✌️

なべちゃん達とはここでお別れ。おれはここから御西小屋まで向かう、という予定だったが…。が…。が…。

金子さんは管理人室からストーブを出してくれ、小屋内にいた登山客は、みな喝采!!👏 そして、水を汲んできたなべちゃんは、すぐに大鍋で味噌汁を作ってくれた。



えー、これを見てしまうと、決断は揺るぎますよね。。。😓

はい、今晚、本山小屋に泊まります👉

そうと決まれば、多少はなべちゃん達の手伝えることを手伝って、あとはくつろぎモードへ👌

★そして山頂

本山小屋からは片道 15 分の飯豊本山へピストン👣。案の定…



視界は真っ白。

うーん、ロマンティック…👇👇👇

★本山小屋の夜

なべちゃん達は、小屋に泊まったすべての登山客に味噌汁をふるまってくれた。本当にうまいっ😋（→しかもこの後は、登山客の持ち寄りで、野菜やうどんも入ったり。おれはご飯を炊いたので、最後に雑炊として提供できたぜ👍）

さらに、管理人室に残った酒🍷🍺🍻を、この連休で飲み干すぞという勢いで、宴会は始まる(でも、17:00 までは飲まない、というのがなべちゃんの掟👉) その場にいた登山客からいろいろなお酒が提供され(おれも焼酎を差し出してみる)…😓

深い深い山の中で、その場に集まった見知らぬ登山客同士が、縁あって共有できる時間。山の話も盛り上がるし、おれは我がもの顔で、今日見つけた(見つけてもらった)古銭をみんなに自慢したりした🤪

あまりお酒は強くないですが、なべちゃん手作りのまろやかな梅酒でほろ酔いに🥳 夜はそのまま、ぽかぽかの体で、シュラフにくるまれるのもらくちん。(→しかもなべちゃんが、おれだけに特別(!?)、管理人用の寝袋も貸してくれ、暑いくらいに!!)

ああ、ここに泊まって本当によかった😊
それではおやすみなさ〜い🌟🌟

(翌日に、つづく)

【行動記録】

6:00 小白布沢登山口
6:45-6:50 水場
7:30-7:40 横峰
7:57-8:07 水場
8:27-8:37 剣ヶ峰付近
9:22-9:50 三国小屋 (→昼食)
10:20-10:30 長沢展望台
11:07-11:20 切合小屋
12:20 草履塚
13:05-13:10 御前坂
13:40 本山小屋

14:15 本山小屋
14:30-14:37 飯豊山山頂
14:50 本山小屋

※本山小屋メモ

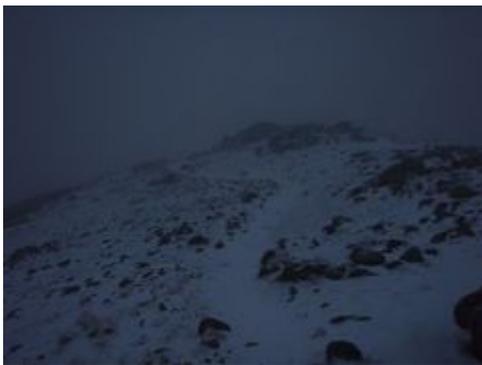
- ★定員は 30 人くらいが理想(だと思えます。)
- ★水場あり。(小屋から徒歩 3 分。チョロチョロだけど、確実に流れています。)
- ★テント泊は基本禁止。小屋が定員に達したときのみ認める程度。



【2009.10.11】

天気、回復せず…

5:45、なべちゃん&金子さんとの別れを惜しみつつ、あられの中、出発～



積雪 3cm。

ガスの時はいちばん迷いやすいとされる飯豊本山～御西小屋の稜線。確かに、登山道が不明瞭。。。

 しかし、先行するパーティーの足跡が雪上にかすかに残され、それを信じて辿っていくと…

本日同じルートを歩く3人組パーティーと合流でき、ひと安心

彼らも昨日は本山小屋に宿泊し、挨拶は交わしていたので、いろいろと話をするうちに、下山後は登山口から駅まで車で送ってくださることになった。ありがとうございます!! (→本来は登山口からさらに林道を2時間歩き、バスで駅まで出る予定だったのだ。)

以後、彼らのペースで歩いていく。彼らは、昨日ダイグラ尾根から登ってきたので、さぞ、颯爽と歩くのかと覚悟していたら、そのうちの1名が最近山を始めたそうで、しかも膝の調子が悪いとのこと。結局は、ほぼコースタイムどおりのペース配分だった。(→でもこれが、あとで冷や冷やさされることに。。。)

★7:00 御西小屋、通過

御西小屋に到着。気づけばあられはみぞれとなり、雨となり、強くなる一方なので、小屋での休憩はせず（→雨具を脱いだりが面倒くさい）、次の梅花皮小屋を目指すことに。

その間、天狗の庭、御手洗ノ池、烏帽子岳等のポイントを通り、本来天気良ければ気持ちのよい縦走路となるはずだったが…。

あまり、記憶になし。。。😓💧

（フードをかぶらない方が視界は広がるけど、耳が寒いと鼻水が止まらん…。とか、そんなことばかり考えていたような…。😓）

★10:10 梅花皮小屋にて、昼食

梅花皮小屋では、昼食を兼ねての1時間休憩。

この3人組パーティは、主に東北の山を登るそうで、9月の5連休は飯豊山の全縦走を4泊5日で行ったそうである。なるほど、これがやっぱり標準タイムか。（→となると、三太さん、あなたはいったい…。）

小屋を出る直前に、管理人がやってきて、聞きたくなかった一言を聞いてしまう。「下界は晴れているよ。」いやだー… 🏠

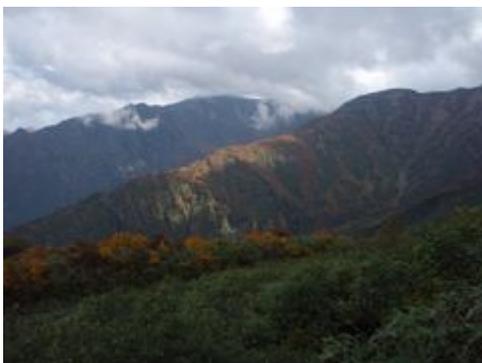
その後の縦走路も、ガス。。。。



★13:00 扇ノ地紙、ここから下山

なべちゃんからは丸森尾根の下山を勧められていたが、梶川尾根の方が景色が良いから、というリーダーの判断に着いていく。

下り始めるとようやく明るくなりだし、標高 1700m くらいまで下れば、雲の下に出るようだ。梶川峰まで下ると、視界ばっちり。。。🤔



そのおかげで、途中の滝見場からは、ベテランコースの雪渓歩き「石転び沢」、紅葉のくさいぐら尾根(→ここは登山道なし)、鋸の刃のようなダイグラ尾根がよく見えた。

(ダイグラ尾根なら、今度挑戦してみたいな、なんて思ってみたり🤔。石転び沢は…、本当に歩くとなったら、なべちゃん達に同行してもらおう💡)

それにしても、梶川峰はものすごい急斜面。ゆっくりゆっくりと下るが、その分ペースが遅れていることにも気づく。何度か休憩を繰り返すが、だんだん日が暮れてゆく…。😓

17:30、リーダーのまさかの一言:「ヘッドランプを出せー。ヘッドランプを使って歩く練習だと思って。」

ヘッドランプなんて全く使う気ゼロだったので、ザックの下の方に転がってるんですけど…👉

でも、そうこうしているうちに完全に暗くなってしまい、最後はヘッドランプを頼りに、18:03 無事に下山。お疲れ様でした😓

この後、国民宿舎「梅花皮山荘」に車で移動し、温泉🗺️でも、おれの終電までの時間があまりないので、温泉は40分程度ですぐに出発👉👉👉(→ありがとうございます。)

その甲斐あって、米沢駅には20:30に到着し、終電までの45分間で、駅前レストランの米沢牛に食らいつけたのでありました🍖

【行動時間】

5:45 本山小屋

5:57 飯豊山山頂

6:26 旧道との分岐点 (→ここで3人組に合流)

7:03-7:05 御西小屋

8:10 御手洗ノ池

9:05-9:10 小休憩

9:25 烏帽子岳

10:10-11:10 梅花皮小屋 (昼食)

11:35 北股山

12:25 門内岳
12:27-12:30 門内小屋
13:00 扇ノ地紙
13:40 梶川峰
13:57-14:07 滝見場①
14:26 五郎清水
15:25-15:30 滝見場②
16:00 登り返し
16:10-16:20 湯沢峰
17:30-17:35 小休憩（ヘッドランプを出す）
18:03 飯豊山荘登山口

※三太さん情報によると、梅花皮山荘付近にある民宿「奥川入」は、たいそう素晴らしいもてなしのことなので、ここもいずれ機会がある時は寄ってみたいものです💡

総括すれば、また行きたい山👉 それに尽きる👉

どんな山かはよくわかったし、荷物を軽くすれば、全縦走を2泊3日で行けるかな…👉

なべちゃん達からは、山で使える小技をたくさん教えてもらえたことに感謝👉
(⇒ちょっとしたアウトドア用のグローブよりも、ゴム手袋の方が、安くて防水力は断然ある、とか、ストックを歩きながらザックに収納する方法とか…etc (→ストックはこれまでほとんど使う習慣がなかったけど、やはり持ち歩いた方がよいと言われてしまったり。))

飯豊山は、東京からの移動に時間がかかってしまうのが難点だけど👉、最低でも4連休をとれたら、またなべちゃん達に連絡したいものである。うん👉

(しかも、なべちゃんからは、「飯豊山岳会準々々々会員」の称号をもらったし、その名に恥じぬよう、また行くぞー👉)

※フォトアルバムはこちら

http://mixi.jp/view_album.pl?id=39532769&owner_id=6743162&mode=photo